



# 飛翔天中

～明日も行きたくなる学校 会いたくなる友だちや先生 受けたくなる授業～

R3. 12. 24 発行

## 開かれた学校を目指して

校長 平田 睦

先月、本校3年の生徒が水難救助活動において、徳之島地区消防組合と天城町の共同で感謝状を贈られました。堤防から海に転落した方の救助活動にあたり尊い命を救ったことがその理由です。

釣り具のタモを転落した男性の近くに差し出したり、浮き代わりにロープを結んだクーラーボックスを投げ入れたりして男性が溺れるのを防ぎ、救急隊到着まで待機していたこと。また、近くにいたお母さんに消防への通報をお願いし、救助が到着するまで「大丈夫ですよ。もうすぐ救助が来ますから。がんばってください。」と励ましていたこと。隣にいた人が海に転落してしまうという状況に遭遇したら大人でさえ慌ててしまい冷静に行動することは難しいのではないかと思います。生徒のとったとっさの判断力と行動力に頭が下がります。他に救助の補助をされた3人の大人の方もいらっしまったそうです。

この生徒の機転の利いた一連の行動は、実は1学期に行った徳之島地区消防組合天城分遣所での3日間の職場体験学習の成果でもありました。講話や訓練をとおして指導していただいた、緊急事態に対処するときの知識や心構え等を理解し、さらにそれらのことを実際に生かすことができたということです。

今、学校教育では、変化の激しいこれからの時代を生き抜くために、知識や技能を習得するだけでなく、それをもとに「自分で考え、表現し、判断し、実際の生活の中や社会で役立つ」ことができる力の育成が求められています。救助活動を行ったこの生徒の行動は、正に、学んだことを実際の社会で役立てることができるという、今求められる力だと言えます。

今回のことで改めて実感したのは、教育は単に学校だけで行われるものではないということです。もちろん学校が学びの場の中心でなければなりません。職場体験学習のような地域の方々から支えていただく学びの場も子どもたちにとってはなくてはならないものです。今年もこの学びの場が制限されることが多い1年でしたが、来年は、今年の知見を生かして子どもたちの学びの場を広げ、開かれた学校でありたいと思います。

さて、2学期の終わりにあたり、保護者の皆さま、地域の皆さまからいただいた多くのご支援に感謝申し上げます。温かい励まし、また、貴重なご意見もいただきました。様々なご意見をしっかりと受け止め、工夫改善し、今後も職員一同子どもたちの未来のために努めていきます。3学期もそして新たな年も何卒よろしくお願い申し上げます。皆さまどうぞ、よいお年をお迎えください。

## 修学旅行

12月13日(月)～15日(水)で、2年生が修学旅行に行ってきました。長崎では、講話や原爆資料館の見学等を通して、戦争の悲惨さについて学習しました。佐賀では、手びねり体験で各自発送を生かして個性的な作品作りに取り組みました。



2度の延期を乗り越えた分、より思い出に残る貴重な体験ができました。

## 校内駅伝競走大会結果

(総合の部)

優勝 3年A組

(個人の部)

男子2. 1km

女子1. 8km

男子1. 8km

男子1. 1km

女子1. 1km



## 1月前半の主な日程

- 11日(火) 始業式
- 13日(木) 3年実力テスト
- 16日(日) 思いやりクリーン作戦
- 18日(火) 鹿児島学習定着度調査
- 19日(水) 鹿児島学習定着度調査
- 20日(木) OSOS運動
- 22日(土) 私立高校入試開始  
(樟南第二高校は22日)

12月22日(水)の昼休みに、生徒玄関ロビーで、吹奏楽部が「クリスマスミニミニコンサート」を開催しました。ハンドベルによる演奏で、心地よい音色で響く「きよしこの夜」そして「星に願いを」…。

冬休みももうすぐです。ほっこりと癒やされるひとときでした。

